

2021年11月12日

【格付維持】

順天堂

発行体格付：AA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

1838年創立の日本最古の西洋医学塾を源流とする学校法人。大学は医学部やスポーツ健康科学部、保健医療学部のほか6学部で構成される。6カ所の附属病院の収支はいずれも安定しており、学校法人としての医療収入額は圧倒的な規模を有する。とりわけ中核の順天堂医院は高度な医療技術や患者本位の医療サービスの提供で評価が高い。2020年に全国13番目の臨床研究中核病院に承認され、立地にも恵まれ競争力に優れる。附属病院群の競争力が信用力を支える大きな柱になっている。ただ、病院事業は診療報酬改定といった国の医療政策・制度の影響や患者数動向に左右され、産業リスクが比較的大きい。2020年度は新型コロナウイルスにより入院・外来ともに患者数が影響を受けたが、経営努力と補助金を支えに安定した収支を確保した点は評価できる。2021年度は回復傾向にあるものの、引き続き患者数と収支動向を注視していく。

医学部が法人の中で人材育成、医療研究で多大な役割を果たし、医療看護学部など医学関連学部も病院への人材供給で貢献している。附属病院は一般の病院に比べ、優秀な医師を確保しやすく、臨床研修の場としても評価が高い特色を持つ。

小川秀興理事長の卓越した運営手腕、強いリーダーシップ、理念「不断前進」の下、大学や病院の改革に取り組み、大きな成果を上げている。国家試験合格率の向上や改組を含む4学部の開設、練馬病院及び研究センターの新設で実績を残し、本郷・お茶の水地区の再編事業も成功裏に終えた。ピーク時400億円を超えた借入金を完済するなど、財務基盤の強化も評価できる。

総合大学化のさらなる拡充を目指して、浦安市日の出地区で3つの新学部開設、新キャンパス設置などの大型投資を進めている。加えて、さいたま市での新病院設置も自治体と交渉中だ。補助金などを活用するものの資金負担は小さくない。今後の進捗とともに投資回収の動向を確認していく。

【格付対象】

発行者：順天堂

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA (維持)	安定的

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2021年11月12日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 学校法人 [2021. 05. 31]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	順天堂
-------	-----

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。